

GR Garage 浦和美園

GR TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

GR TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup

第1戦

2024年5月11日(土)～12日(日)

スポーツランド SUGO (宮城県村田町)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

GR86/BRZ Cup のプロフェッショナルシリーズには吉田広樹選手、渡辺圭一選手が出演。吉田選手のサポートは GR Garage 浦和美園の渡辺颯人に加え、GR Garage 熊本中央の白石圭と村上龍亜が、渡辺選手のサポートは所沢北支店の藤田尊が行います。土曜日(予選日)の天候は晴。15分間の予選は、吉田選手が1分35秒890をマークし9位、渡辺選手が1分37秒733で30位という結果です。日曜日(決勝)の天候は曇。決勝は11時15分より13周で行われ、吉田選手は9番グリッドから順当なスタートをきり、1コーナーへ。8位の坂選手(910号車)と並びますが、抜くことはできず、9位で1周目を終了します。吉田選手は6周目の最終コーナーで再び坂選手をとらえて8位にポジションアップ。10周を終える頃には7位の伊東選手(80号車)に1秒以内の差まで接近します。吉田選手はフィナルラップの最終コーナー立ち上がりで並びかけますが、わずかに及ばず8位チェッカー。一方、渡辺選手はスタートで出遅れたものの、前後の順位を入れ替えながら30位でホームストレートを通る。周囲が接触やトラブルで脱落していく中、安定したペースで走行し、27位まで浮上します。先行する選手を追い立てますが、リスクの高い追い抜きは控え、27位でフィニッシュ。

クラブマンシリーズには2022年のYaris Cup元王者の大森和也選手が出演。GR Garage 浦和美園のサポートのもと、再びチャンピオンを目指します。担当メカニックは東松山支店の木田明日翔です。土曜日の予選では1分39秒807をマークし、予選7位を獲得。日曜日の10時05分から行われた決勝では、事前のスタート練習が功を奏し、抜群のスタートを決めます。2コーナーで5位に上がりますが、位置取りに苦戦。8位に後退し、1周目を終えます。4周目、3位を走る選手のストップにより7位に浮上。9周目に赤旗中断となり、11周目から残り3周で再開されます。上位のコースアウトにより、6位に上がりチェッカー。レース後、上位の選手が失格になったため正式結果は5位となりました。

併催されたYaris Cupの東北シリーズ第1戦には細淵美央選手が出演。担当メカニックはGR Garage 浦和美園の青木優将と八潮支店の真鍋賢人です。予選と決勝を土曜日に行う1DAYレースで、細淵選手は予選では自己ベストを上回る1分51秒962をマーク。難なく決勝進出を決め、37番グリッドからのスタートとなりました。14時15分にスタート。細淵選手は苦手とする坂道スタートで出遅れ、1周目を39位で終えます。その後は後続をおさえながら先行する久米選手(81号車)を追う展開。1コーナーでたびたび久米選手に仕掛けますが、前に出ることができません。しかし、フィナルラップで久米選手が外側に膨らんだスキをつき、38位にポジションアップ。そのままチェッカーを受けました。上位車両にパネルティが科されたため、正式結果は37位。細淵選手は昨年と比べて安定感が増しており、楽しいシーズンとなりそうです。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#160 GR Garage 浦和美園 BS GR86

吉田広樹選手 決勝8位

予選9位(1分35秒890)

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ
#8 JCS GR 浦和美園 GR86

渡辺圭一選手 決勝27位

予選30位(1分37秒733)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ
#522 GRG 浦和美園 CAMP GR86

大森和也選手 決勝5位

予選7位(1分39秒807)

Yaris Cup

#523 GR Garage 浦和美園 CAMP Yaris

細淵美央選手 決勝37位

予選37位(1分51秒962)

DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

決勝はポイント獲得という最低限の目標が達成できました。ロングランのテストができなかったのでレース展開の予測が難しい状況でしたが、後半になってブリヂストンの特性を活かして順位を上げられました。最後にもう1つ順位を上げるチャンスがありましたが、一歩及びませんでした。サポートの GR Garage 熊本のメンバーには埼玉のメンバーから技術を吸収してもらうのはもちろんですが、普段の業務では味わえない緊張感や楽しさも含めて店舗で展開してくれたらいいと思います。まずは開幕戦として上々のスタートが切れたと思います。

渡辺圭一選手

1周しかタイムを狙えない難しい予選でしたが、狙った位置でコースインできたこともあり、自己ベストを更新するタイムができました。決勝のスタートは出遅れてしまいましたが、後半に差し掛かり、前方のクルマのペースが落ちてきたので追いつきました。前半にアクシデントが多いレースなので、後半を重視していました。抜けるチャンスは何度かありましたが、SUGOでのオーバーテイクは接触のリスクが高いので無理に行くことはしませんでした。次は第3戦の富士スピードウェイに参戦します。最も走っているコースなのでがんばります。

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

練習したスタートがうまくままりましたが、その後のポジション取りが悪くてスタートで上げたポジションを落としてしまいました。今まで走っていた Yaris Cup は前にクルマがいたらすぐに飛び込むようなレースですが、86 レースは周回数が多いので、無理なところは引いてタイヤを労わりながら走るようにしました。もう少し攻められるところもありましたが初戦で壊すわけにはいかないの、全戦出場する流れを考えながら戦いました。次戦のオートポリスは未経験ですが、しっかり練習して表彰台を狙いたいです。

Yaris Cup

細淵美央選手

予選では自分とレベルが近いドライバーの間でコースインできたので、前後のクルマを気にすることなくアタックに集中できました。途中コース上が混んで思うように走れない場面がありましたが、最終的には自己ベストを更新する走りが出てよかったです。決勝ではスタートで出遅れたことでポジションを落とし、CVT 車両を追いかける展開になりました。CVT 車両と比較すると速い場所が異なるので抜くのにも苦労しました。今後は CVT 車両が絡まないポジションからスタートできるようにもっと予選をがんばりたいです。

MECHANIC VOICE

所沢北支店 藤田 尊 (8号車 渡辺選手担当)

店舗での業務は点検や一般整備がメインで、車高やキャンバー調整はレースならではだと感じました。初めての現場なので勝手に判断せず、確認してから作業することを徹底しました。レースの整備は店舗以上に速さと正確さが必要でプレッシャーを感じましたが、この経験を活かし、更に緊張感をもって普段の業務に臨みたいと思います。

次戦予告 第2戦 6月16日(日) オートポリス (大分県日田市)

PARTNERS



有限会社アイ・ティ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼玉スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

